

第 32 回頭頸部放射線研究会東京部会プログラム(14:00～16:00)

■一般演題 I (14:00～14:32) (発表 5 分, 討論 3 分)

座長: 黒崎喜久(順天堂大学)

1. 両側耳下腺腫瘍から発見された肺小細胞癌の 1 例

昭和大学医学部・放 同・耳鼻¹⁾ 同・病理²⁾

竹山信之, 崔 翔榮, 信澤 宏, 後閑武彦, 宗近宏次, 稲垣幹矢¹⁾, 洲崎春海¹⁾, 九島巳樹²⁾

要旨: 73 歳男性。主訴は進行性の左耳下部の腫脹。頸部リンパ節腫大はなかったが, 対側耳下腺にも腫脹が出現し, 左耳下腺より腫瘍が摘出された。病理は小細胞癌で, 左肺門上肺癌からの転移であった。

2. 耳下腺 Salivary duct cancer の 3 例

昭和大学医学部・放 同・耳鼻¹⁾ 同・病理²⁾

竹山信之, 北原 規, 後閑武彦, 宗近宏次, 稲垣幹矢¹⁾, 大氣誠道¹⁾, 洲崎春海¹⁾, 九島巳樹²⁾

要旨: 耳下腺 salivary duct cancer の 3 例を経験した。CT, MRI 所見を中心に病理所見, 臨床的特徴, 文献的考察を加え報告する。

3. 内反性乳頭腫における癌合併症例の検討

東京歯科大学市川総合病院・放

豊田圭子, 清水 桜, 青柳 裕

要旨: 内反性乳頭腫の癌合併の症例を 3 例経験し, その CT, MRI を検討したので報告する。症例 1 は扁平上皮癌が乳頭腫と同時に発見された症例, 残る 2 例は乳頭腫切除術施行数年後に癌が発生した症例である。

4. 正常側頭骨における前庭神経管の解剖と CT 所見: 初期経験

三井記念病院・放 東京医科歯科大学・臨床解剖学¹⁾

阿部彰子, 山口久美子¹⁾, 衣袋健司, 石井 麗, 福田穂積

要旨: 解剖体の側頭骨 CT と, 同じ角度の解剖体断面で, 内耳道から出る前庭神経管を観察, 比較した。これらの解剖を理解することは, その病変の診断により役立つと思われた。

■一般演題 II (14:32～15:04) (発表 5 分, 討論 3 分)

座長: 辰野 聡(東京慈恵会医科大学)

5. 顔面深部に発生し, 患側舌の脱神経性萎縮, 頭蓋内進展を伴った神経鞘腫の 1 例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・耳鼻¹⁾ 同・病理²⁾

浮洲龍太郎, 櫻井幸太, 鈴木美奈子, 藤澤英文, 武中泰樹, 馳澤憲二, 櫛橋民生, 門倉義幸¹⁾, 池田尚弘¹⁾, 徳丸岳志¹⁾, 塩川 章²⁾

要旨: 35 歳女性。右顔面深部と舌の違和感を主訴に受診。CT, MRI で舌下神経走行部に一致した大きな紡錘状腫瘍があり, 患側舌萎縮と舌下神経管を介した頭蓋内への進展がみられた。生検で神経鞘腫と診断された。

6. Zygomatic nerve に沿った神経周囲進展 4 例の画像所見

東京慈恵会医科大学・放 同・解剖¹⁾

尾尻博也, 橋本 透¹⁾, 松島理士, 福田国彦

要旨: 神経周囲進展は治療法選択, 予後推定等において重要な因子となる。V2 の分枝である zygomatic nerve に沿った神経周囲進展を示した頭頸部悪性腫瘍 4 例に付き, 画像所見を中心として報告する。

7. 外側咽頭後リンパ節転移を生じた下顎歯肉癌再発の 1 例

昭和大学歯学部・歯科放

木村幸紀, 花澤智美, 岡野友宏

要旨: 症例は 63 歳男性。右側下顎歯肉癌で下顎骨辺縁切除と頸部郭清術を受けた 4 年後に右側前口蓋弓前方部に癌 (rT2N0M0) を生じた。腫瘍切除の 5 ヶ月後に CT で右側外側咽頭後リンパ節転移がみられた。

8. 原発性副甲状腺機能亢進症患者における ^{99m}Tc MIBI SPECT と CT との fusion Image の有用性について

自治医科大学・放

吉田慶之, 島田和佳, 歌野健一, 藤田晃史, 山元龍哉, 篠崎健史, 相原敏則, 杉本英治

要旨: 原発性副甲状腺機能亢進症にて手術され, 病理学的に副甲状腺腺腫と診断された 9 例での ^{99m}Tc MIBI SPECT と CT との fusion Image の有用性を retrospective に検討した。

●教育講演 (15:15～16:00)

座長: 浮洲龍太郎(昭和大学横浜市北部病院)

「頭蓋底およびその近傍病変の画像診断」 興梶征典 教授(産業医科大学放射線科)

第 32 回胸部放射線研究会東京部会プログラム(16:15～18:25)

●特別講演(16:15～17:00)

座長:櫛橋民生(昭和大学横浜市北部病院)

「CT 診断における GGO と病理診断学における BAC」

野口雅之 教授 筑波大学大学院人間総合科学研究科基礎医学系病理学(診断病理)

■一般演題 I (17:10～17:50) (発表 5 分, 討論 3 分)

座長:氏田万寿夫(東京慈恵会医科大学)

1. 肺原発 intravascular lymphomatosis の 1 例

旭川医科大学・放 アイオワ大学・放¹⁾ 旭川医科大学附属病院・病理部²⁾

稲岡 努, 高橋康二¹⁾, 山田有則, 長沢研一, 油野民雄, 三代川斉之²⁾

要旨:63 歳女性。主訴は呼吸困難, 発熱。CT で両側下葉優位にすりガラス状変化を認め, 肺野末梢側に air trapping が見られた。治療抵抗性のため TBLB を施行。Pulmonary intravascular lymphomatosis (IVL) と診断された。Pulmonary IVL の画像報告は少なく, 貴重な症例と考えられたので報告する。

2. 非特異的な経過を示した悪性リンパ腫の 1 例

東京女子医科大学附属第2病院・放 同・内科¹⁾ 東京都立駒込病院・放診療²⁾

藤村幹彦, 木村文子, 西條亜利子¹⁾, 山脇 功¹⁾, 酒井文和²⁾, 上野恵子

要旨:胸部異常影にて来院。CT で右上葉にすりガラス影を認めたが, 精査中, 脳梗塞を発症し経過観察。陰影は一時消退したが結節影が生じ, そのサイズが増大。CT 下バイオプシーを施行し, 悪性リンパ腫と診断された。

3. 肺線維症に重なる浸潤影の CT 像を呈した肺扁平上皮癌の 1 例

蒲原総合病院・放

松本敬子

要旨:肺線維症患者で既存の蜂窩肺に肺癌が合併した場合, その形態評価は困難であり, 感染症の合併など非腫瘍性病変との鑑別に苦慮する。今回肺線維症に合併し, CT 上浸潤影を呈した扁平上皮癌を経験したので報告する。

4. ウェステルマン肺吸虫症の 1 例

聖マリアンナ医科大学・放 長野県佐久総合病院・内科¹⁾

吉松美佐子, 松岡 伸, 栗原泰之, 具 芳明¹⁾, 大浦也明¹⁾, 中島康雄

要旨:40 歳女性。主訴は咳・血痰, 胸部単純写真上空洞を伴う浸潤影を認めた。さらに喘鳴, 左側胸水が出現, 好酸球増多を認めたことから寄生虫感染を疑い, 血清抗体価にてウェステルマン肺吸虫症と診断した。

5. 細気管支から壁外性に発育した肺過誤腫の 1 例

埼玉県立循環器・呼吸器病センター・放

叶内 哲, 星 俊子, 杉浦弘明, 松本寛子

要旨:前回, 小気管支の内腔にポリープ状に発育した肺過誤腫を報告した。連続切片で観察しえた別の肺過誤腫について報告する。CT では辺縁平滑で血管関与を認めない非特異的結節だった。病理では細気管支から壁外性に発育していた。

■一般演題 II (17:50～18:25) (発表 5 分, 討論 3 分)

座長:栗原泰之(聖マリアンナ医科大学)

6. 肺胞微石症の 1 例

昭和大学横浜市北部病院・放 同・呼吸器センター¹⁾

藤澤英文, 櫛橋民生, 鈴木美奈子, 浮洲龍太郎, 櫻井幸太, 武中泰樹, 鹿間祐介¹⁾, 北見明彦¹⁾, 中島宏昭¹⁾

要旨:症例は 22 歳男性。他院で 7 歳時に肺胞微石症と診断され, 以後経過観察されていた。転居に伴い, 当院呼吸器センターを受診した。まれな疾患である肺胞微石症の画像を供覧し, 報告する。

7. 喉頭乳頭腫の多発性肺浸潤と考えられた 1 例

防衛医科大学・放

阿部克己, 小須田 茂, 林 克己, 坂口千春, 浜 幸寛, 坂田郁子, 門田佳子, 徳丸阿耶, 岩崎善衛, 加地辰美, 川内利夫

要旨:喉頭乳頭腫の下気道への播種はまれで, 肺実質浸潤をきたすのは更にまれである。我々は喉頭乳頭腫が空洞を伴う多発性の肺浸潤をきたしたと思われる症例を経験したので報告する。画像所見は診断に有用と考えられた。

8. 皮膚筋炎に合併した **cellular NSIP** の 1 例

埼玉県立循環器呼吸器病センター・放 同・呼吸器科¹⁾

杉浦弘明, 叶内 哲, 松本寛子, 星 俊子, 高柳 昇¹⁾

要旨: 症例は 42 歳男性。皮膚筋炎に合併した亜急性の間質性肺炎として VATS が施行され, cellular NSIP と診断されステロイドパルス療法にて軽快した。画像と病理所見を提示する。

9. **A Case of Silicoproteinosis with Diffuse Interstitial Fibrosis**

獨協医科大学・放 同・病理¹⁾ 珪肺労災病院・放²⁾

荒川浩明, 本間浩一¹⁾, 森久保 寛²⁾, 志田寿夫²⁾

要旨: 粉塵曝露歴 32 年の患者に発症し, 15 年間経過観察された silicoproteinosis の剖検例を報告する。

◆研究会終了後, 合同懇親会を開催いたします。